



長谷工 コーポレーション



三菱ケミカルインフラテック

CORONA

2018 年 8 月 27 日

株式会社長谷工コーポレーション
三菱ケミカルインフラテック株式会社
株式会社コロナ

『ZEH-M』向けエアコン付ヒートポンプ床暖房を商品化

株式会社長谷工コーポレーション(本社:東京都港区、社長:辻範明)と三菱ケミカルインフラテック株式会社(本社:東京都中央区、社長:松本和広)、株式会社コロナ(本社:新潟県三条市、社長:小林一芳)は、3社の技術をコラボレーションした、集合住宅 ZEH(ZEH-M)向けのエアコン付ヒートポンプ床暖房を商品化しました。

<開発背景>

2014年4月に閣議決定された「エネルギー基本計画」において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEH^(※1)(ゼッチ/ネット・ゼロ・エネルギーハウス)の実現を目指す」という目標が設定されています。また、2018年度から集合住宅向けZEH支援事業がスタートし、要件を満たした集合住宅に対して一定の補助金が交付される予定です。集合住宅のZEH評価として、「ZEH-M」「Nearly ZEH-M」「ZEH-M Ready」及び、太陽光発電が不要な「ZEH-M Oriented」の4つが挙げられています。

一方、省エネルギー性能の高い技術としてヒートポンプ^(※2)は注目されてきましたが、集合住宅においては室外ユニットの設置条件等により、普及がそれほど進んでいませんでした。そこで、3社の技術とノウハウを活かしてZEH対応と省スペース化を実現する商品化に取り組むことになりました。

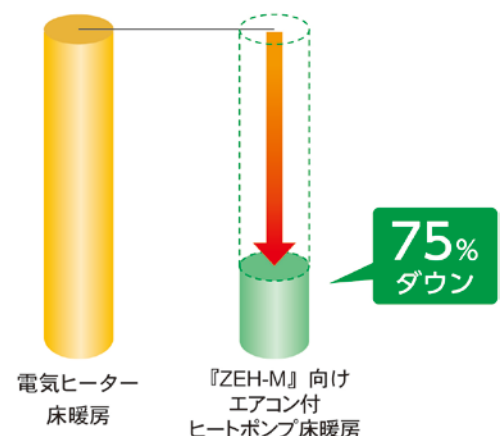
(※1) ZEHとは、躯体の高断熱化、高効率設備及び太陽光発電の導入により、年間での一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロになる住宅のことです。戸建て住宅のZEHビルダーは年々増加し、補助金交付件数は延べ28,953件と増加傾向にあります。(2017年度末時点。一般社団法人 環境共創イニシアチブ公開データより)

(※2) 少ないエネルギーで大きな熱エネルギーを生み出す技術

<『ZEH-M』向けエアコン付ヒートポンプ床暖房の概要>

本商品は、ヒートポンプを内蔵した室外ユニットにエアコンと床暖房を組み合わせたもので、夏はエアコン冷房、冬は床暖房とエアコン暖房の併用が可能です。

1シーズンの暖房にかかる
ランニングコストの目安
JIS C 9612:2013に基づく試算による。

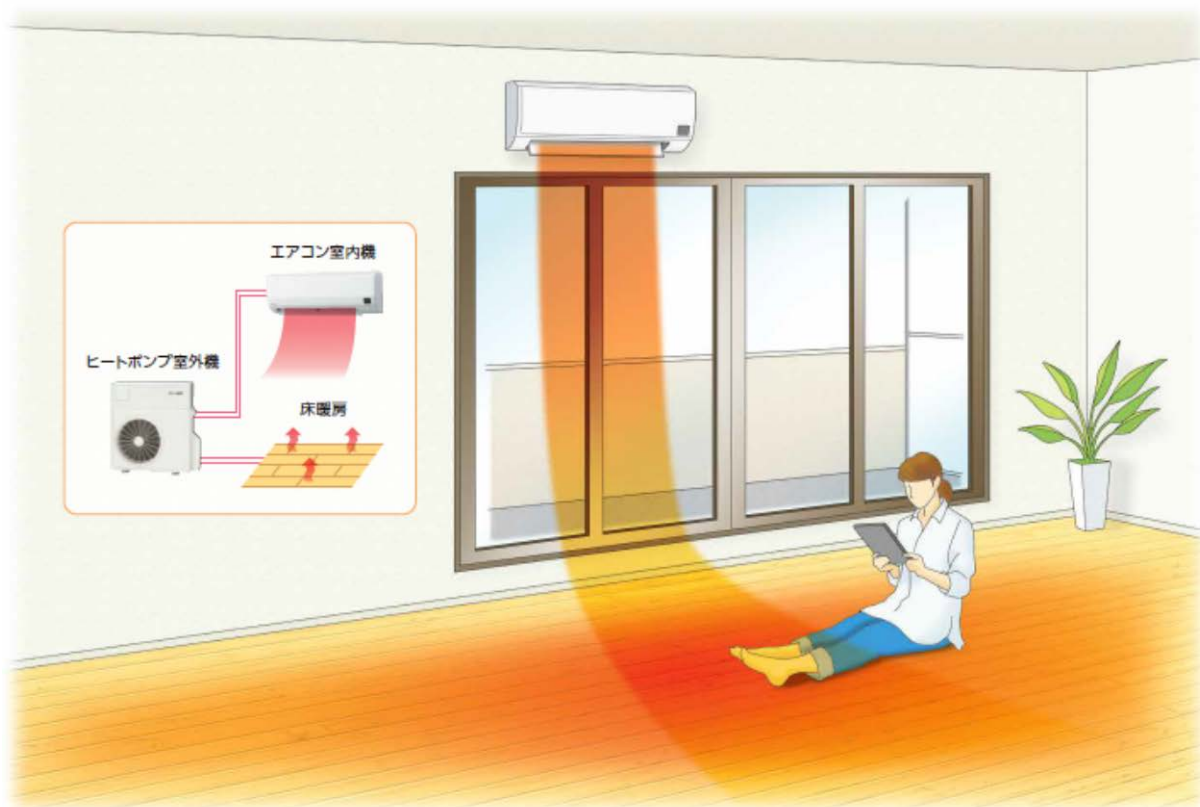


<『ZEH-M』向けエアコン付ヒートポンプ床暖房のメリット>

- ・「ZEH-M」の要件を満たし易い省エネ性能の高さ
- ・オリジナルの床暖房パネルにより、低温の温水でも省エネ性・速暖性・快適性を実現
- ・1シーズンの暖房にかかるランニングコストを抑制(電気ヒーター床暖房使用時の約1/4)
- ・室外ユニット設置場所の省スペース化を図ることが可能

<今後の展開>

本商品は、長谷工コーポレーションが設計・施工する新築分譲マンションに積極的に採用提案するとともに、コロナが外販します。また、3社は今後も省エネルギーで、環境に配慮した製品・サービスの開発と普及に取り組んで参ります。



ZEH-Mの定義

		評価基準			
		『ZEH-M』	Nearly ZEH-M	ZEH-M Ready	ZEH-M Oriented
住棟または住宅用途部分（複合建築物の場合）	U _A 値が全住戸でZEH達成	- 強化外皮基準 - 省エネのみ20%減 - 再エネ含め100%減	- 強化外皮基準 - 省エネのみ20%減 - 再エネ含め75%減	- 強化外皮基準 - 省エネのみ20%減 - 再エネ含め50%減	- 強化外皮基準 - 省エネのみ20%減
	目指すべき水準	1～3階建において目指す水準		4～5階建において目指す水準	6階建以上において目指す水準